

2021年度放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年2月1日

事業所名：ディスカバリークラブト

	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価			
			はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	療育内容に応じて、スペースを確保。また、コロナ対策として密にならないよう健康管理にも配慮しています。	26		1	今後も継続して参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	配置や有資格者を適切に配置しています。	23		4	ホームページや毎月発行のお便り等で、スタッフの有資格者の情報提供を行なっています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	スロープ、手すり等を適切に設置しています。	18		9	バリアフリー化の配慮事項を、ホームページや毎月発行のお便り等で随時発信して参ります。
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	掃除、換気、消毒、加湿等の健康管理を十分に行うと共に、療育内容の活動に応じた空間を確保しています。	25		2	今後も継続して参ります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	PLAN(計画)→DO(実行)→CHECK(確認)→ACTION(対応)を、日々のミーティングで実践しています。	/			今後も継続して参ります。
	6 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価の実施と、それに基づく改善点を事業所全体で共有し課題の改善を行っています。				今後も継続して参ります。
	7 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月、3事業所合同の研修会を実施し、職員全体の資質向上を行っています。				今後も継続して参ります。
適切な支援の提供	8 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	アセスメントやモニタリングの内容を共有し、適切な支援が提供出来るよう計画を作成しています。	25		2	今後も継続して参ります。
	9 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	季節や人数、子供の状態に適したプログラムを実践しています。	26		1	今後も継続して参ります。
	10 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は行っていません。今後、内容を十分に検討致します。	2		18	7 今後、内容を十分に検討致します。
	11 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で必要な支援内容が適切に設定されているか	相談員からのサービスマニュアルを基に、アセスメントやモニタリングの内容を共有し、適切な支援が提供出来るよう計画を作成しています。	25		2	今後も継続して参ります。
	12 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	個々の特性や保護者からのニーズを把握し、支援計画の作成を行なっています。	26		1	今後も継続して参ります。
	13 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎週のミーティングの実施と、記録、支援会議議事録への記録を実施しています。	/			今後も継続して参ります。
	14 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日、振り返りのミーティングを行い、全スタッフで共有しています。				今後も継続して参ります。
	15 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ミーティング内容の記録、支援会議議事録への記録を実施しています。				今後も継続して参ります。
	16 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	時期や子どもの成長に応じてモニタリングを行い、支援計画の見直しと作成を実施しています。				今後も継続して参ります。
	保護者への説明等	17 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	契約時、その他状況に応じて随時説明を行っております。	26		1
18 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		電話等による療育内容の共有や、サービス提供記録の提供を基に発達の状況や課題の共通理解を図っております。	26		1	今後も更なる充実を目指して継続して参ります。
19 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		家庭訪問や電話等による相談支援連携を実施しています。	24		2	1 面談、相談、連携等を総合的に捉え、保護者の方と相互に情報共有出来る機会を積極的に設けたいと思います。
20 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		コロナ感染症対策等もあり、現在は実施できていません。今後、状況に応じて実施も視野に入れながら検討していきます。	4		12	11 コロナ感染症対策も講じながら、今後できる範囲で実施して行ける方向性を持ちたいと思います。
21 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		契約書の重要事項の説明や、苦情マニュアルの作成、苦情担当者からの情報共有など迅速かつ適切に対応しています。	18		9	子ども達はもちろん、保護者の方にも安全・安心して頂けるように信頼関係を構築し、開かれた事業所として情報開示を行なっています。
22 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		電話や送迎時など、機会を見つけて積極的に情報伝達出来るよう配慮しています。	25		2	今後も継続して参ります。
23 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		今後、ホームページやSNS、毎月のお便りを通して、子ども達の活動概要や情報、自己評価の結果を公表します。	26		1	今後も継続して参ります。
24 個人情報に十分注意しているか		動画、写真、その他個人情報に十分配慮しています。	25		2	今後も継続して参ります。
関係機関との連携	25 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービスマニュアルへの参画	個々の状態や必要性に応じて、サービスマニュアル会議を随時開催。	/			今後も継続して参ります。
	26 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有	今後、支援内容を各機関で共有出来るよう連携を図ります。				今後も継続して参ります。
	27 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	今後、障害福祉サービス事業所への円滑な移行支援を実施します。				今後も継続して参ります。
	28 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今後、専門機関との連携や研修を通して療育内容の充実を図ります。				今後も継続して参ります。
	29 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今後、地域と共に子ども達が成長していく環境作りを行います。				今後も継続して参ります。
非常時等の対応	30 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	今後、マニュアルをホームページ等で公表し、周知の徹底を図ります。	19		7	1 今後も継続して参ります。
	31 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	地域の消防署と連携した年2回の訓練の実施。	15		12	保護者の方にも周知して頂けるよう、ホームページや毎月発行のお便り等を通して情報を発信していきます。
	32 虐待を防止するための職員研修等の適切な対応	虐待防止マニュアルを基に、職員の資質向上による研修会を実施。	/			今後も継続して参ります。
	33 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	利用者の尊厳を大切にしながら、個々の特性や保護者からのニーズを把握し、支援計画を作成。				今後も継続して参ります。
	34 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントや定期的なモニタリングの内容を共有し、アレルギー等の健康と安全に関する適切な支援を対応。				今後も継続して参ります。
	35 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	送迎や療育内容など、総合的に状況を把握し共有。				今後も継続して参ります。
満足度	36 子どもは通所を楽しみにしているか	楽しく通所出来るような環境設定とプログラムの構築を行う。	25		2	楽しく通所出来るよう、子どもの状態把握と信頼関係構築を大切にしながら、今後も継続して参ります。
	37 事業所の支援に満足しているか	療育内容を日々、改善・進歩してけるように更なる資質向上に努める。	26		1	子ども達はもちろん、保護者の方への理解を深めながら、最善最速な療育を提供出来るように今後も継続して参ります。